

# 語り継ぐ小諸の民話が できるまで


令和3年度

小諸市市民活動促進事業補助金事業



# ①脚本づくり

天狗の水



① 天狗の水

原作 『続 むかしの話—小諸の民話—』  
脚本 NPO法人本途人舎 竹内ゆかり  
絵 菊池 雪絵

演目ノート  
【おとつき】お父さん

むかし、井子という村に、良作という若者がおった。  
良作は、おとつきが早くに死んでしまったもんだから、小さい時からおつかさんを助けてよく働いた。  
それに、だれにでも気持ちよくあいさつするもんだから、村の衆から

村人 「良さ、良さ。」  
と呼ばれて、評判のいい若者だった。

—ぬく—

『むかしの話 小諸の民話』  
『続 むかしの話 小諸の民話』  
(小諸児童文学の会) を  
もとに、紙芝居用に脚本化。  
全12場面で完結するよう構成  
しました。

## ②作画打ち合わせ



作画を担当された佐藤さん、高藤さん、菊池さんと打ち合わせ。

スケジュールや紙芝居の仕組みなどについてお話ししました。

### ③脚本をもとに絵を制作



『金鶏長者』



『天狗の水』



『化身した観音様』

## ④紙の絵をスキャンしてデジタル化



出来上がった絵を  
スキャナーを使ってデジタル化。  
この時、取り込んだ絵の  
サイズ調整もあわせて  
行いました。

## ⑤朗読



映像化用に朗読を  
レコーディング。  
イントネーションや  
“間”に気を付けながら  
行ないました。

## ⑥音楽の制作を打ち合わせ



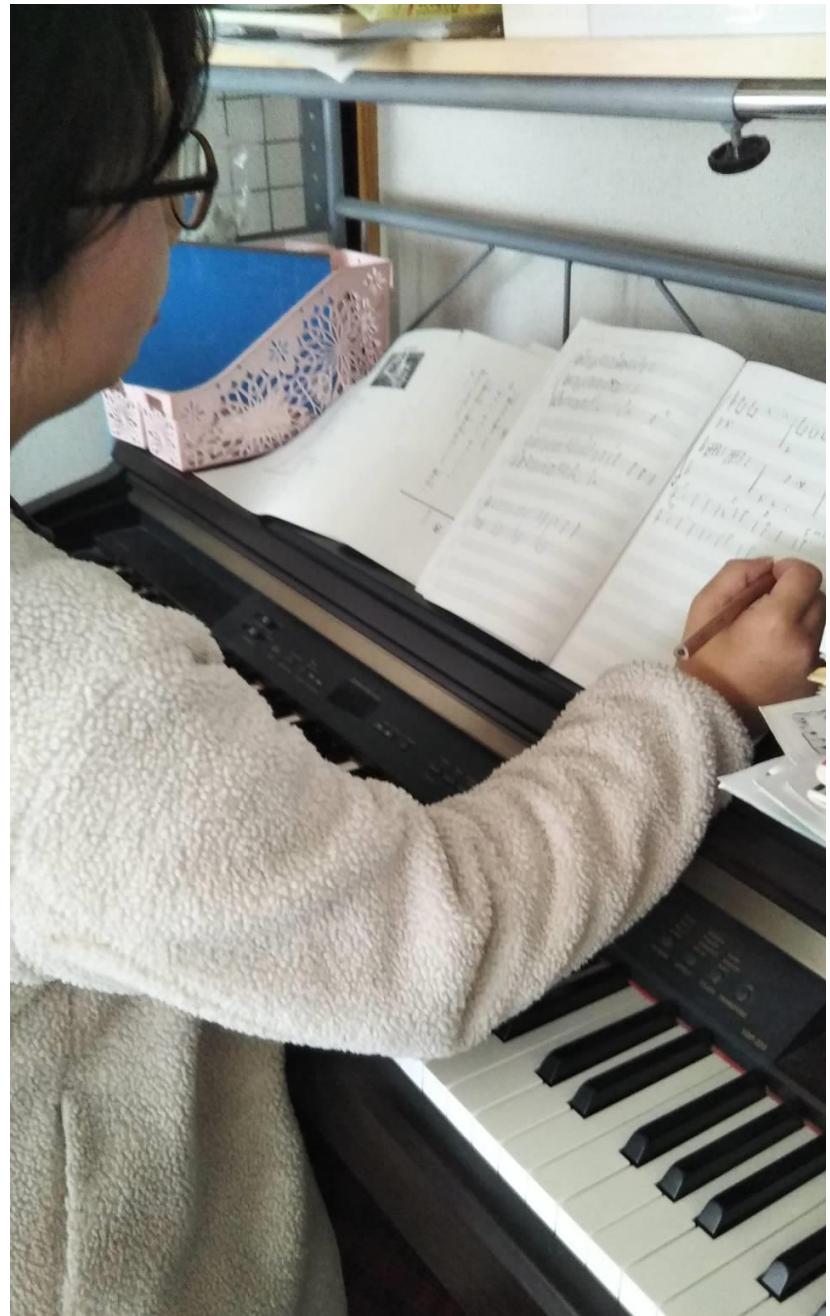
音楽担当の美馬佳世さんと打ち合わせ。

シーンごとに合うようイメージをすり合わせていきます。

## ⑦作曲

美馬さんには、一作品ずつオリジナルの音を作って頂きました。

ピアノを使っている録音は、雑音が入らないよう気を使ったそうです。





## ⑧映像化

パソコンのソフトを使って出来上がった  
絵・朗読・曲 を  
ひとつの作品に  
まとめます。

## ⑨紙芝居用に印刷

紙芝居用の紙に印刷します。

⑩完成

# 『天狗の水』 より

